



《学校教育目標》

未来を拓く、心豊かな、たくましい海西の子
～人と人の絆のなかで、共に学び合う9年間～

小中一貫教育

有鹿小学校
海西中学校

連携・協力

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
神奈川教育ビジョン
海老名市ひびきあう教育
えびなっ子しあわせプラン

めざす学校像

- 児童が「学校に来るのが楽しい」と思える学校
- 地域・保護者から信頼される学校
- 学校に関わる人たちの笑顔があふれる元気な学校

めざす教師像

- 子どもの立場に立って考え、子どもの良さを伸ばす教師
- 児童との関わりを大切にし、厳しさと優しさを備えた教師
- 資質を高めようと常に前向きに研修を積み、謙虚さをもつ教師

めざす児童像

○（新：しん）

真剣に学び活動する子
〈未来を拓く子〉

○（中：なか）

仲間づくりに進んで取り組む子
〈心豊かな子〉

○（田：でん）

伝統を尊重し、地域と進んで関わる子
〈人と人の絆〉

○（小：しょう）

丈夫で元気で健康な体づくりに取り組む子
〈たくましい子〉

学力づくり部の重点

- 進んで学習に取り組み、確かな学力を身に付け、生かそうとする力を育てる
- 校内研究の推進
 - ・道徳の授業づくり推進
- 授業力の向上
 - ・ねらいを明確にし、振り返りを意識した授業づくり
 - ・外国語教育の推進
- 子どもたちとの信頼関係を軸にした納得感のある学習規律の徹底
 - ・聞く姿勢の指導継続
 - ・始業終業時間の遵守
 - ・学習用具の整頓

心づくり部の重点

- 整った生活習慣の中で、自分や友だちのよさに気づき、認め合い、協力して活動する力を育てる
- 支援教育体制の充実
 - ・教職員の協力体制の確立
- いじめの防止
 - ・温かい言葉遣いの指導
 - ・丁寧な児童の様子の見取りと早めの個々の支援策への展開
- 基本的な生活習慣の確立

【 中 小 の こ ろ ろ 】

- ・あかるいあいさつ
- ・しずかなるうか
- ・そろったくつばこ

体づくり部の重点

- 健康な体づくりを意識し、進んで体を動かしたり、安全に行動したりする力を育てる
- 体力づくりの推進
 - ・外遊びの励行
 - ・持久走、大縄跳び等の取組の継続
- 生活習慣の改善
 - ・児童の早寝、早起きの習慣化のための保護者への啓発
 - ・食育の推進
- 安全指導の充実
 - ・校内の学習環境の整備
 - ・様々な状況での緊急下校体制の整備

地域連携の重点

- 地域のひととのふれ合いを通して、自ら進んで家庭や地域と関わろうとする心を育てる
- 児童の参画意識を高めるねらいを持った地域連携活動の展開
- 児童自ら地域貢献の実感が味わえるような地域行事の位置づけ

コミュニティースクール

- 授業への協力（稲作、芋づくり、老人会との交流など）
- 地域行事への共催・参加（もちっ子ひろ場、かかしまつり）
- ふれあいパトロール（ふれあいパトロール委員会）
- 学校応援団（ひるエビ、あそびっこクラブ）
- 学習ボランティア（授業補助、まなびっこクラブ）

家庭との連携

- 授業参観・懇談会の在り方の検討
- 家庭訪問、個別相談での情報共有
- 学校行事・PTA 活動への参加依頼
- 学校・学年だより・保健だより等による情報提供



1 学校教育目標

(1) 学校教育目標 ※海西中学校区 共通の学校教育目標

未来を拓く、心豊かなたくましい海西の子
～人と人との絆のなかで、共に学び合う9年間～

(2) 具体目標と目指す児童像

- ①未来を拓く・・・「真剣に学び活動する子」 主体的に学び、自ら能力を引き出し、自分なりに試行錯誤したり、他者と協働したりして、新たな価値を生み出していく力を身に付け、自らの力で自分の未来を切り拓いていく子を育てる。
- ②心豊かに・・・「仲間づくりに進んで取り組む子」 生きていく上で、一人ではなく、いろいろな人と関わり合いながら、優しさや思いやりの心をもって心豊かに生きていく子を育てる。
- ③たくましい・・・「丈夫な体づくりに取り組む子」心身ともに健康で、明るく元気に過ごして欲しい。困難な状況の中でも、たくましく生きる力を身に付ける子を育てる。
- ④人と人との絆のなかで共に学び合う9年間・・・「伝統を尊重し地域と進んで関わる子」 海西中学校区三校で協働して9年間の教育活動を実践する中で、子ども・教師・保護者・地域の方々が互いに絆を深め、共に成長していける場で有るようにしたい。

2 学校経営方針及び具体的な取り組み

(1) 学校経営方針

「児童が、『学校に来るのが楽しい』と思える学校」「地域・保護者から信頼される学校」「学校に関わる人たちの笑顔があふれる元気な学校」を基本理念とし教育活動を進めていく。そのために、全教育活動において、まず、児童一人一人が尊重され、のびのびと自分の考えを表現することができる学びの場やお互いのよさを認め合いながら力を合わせて活動することができる温かい活動の場を広げていく。一方、各教室では、分かる授業を展開し、基礎基本の定着を図るとともに、課題解決に向けて児童が主体的に取り組み、お互いの学びを分かち合うことができる活動に発展させていく。また、コミュニティスクールとして、地域の方々や保護者と協働し活動する中で、学校の教育活動への理解や信頼を得られるように努力する。

(2) 重点目標と具体的な取り組み

- ① 進んで学習に取り組み、確かな学力を身に付け生かそうとする力を育てる。
 - ・ 道徳の授業づくりの研究（校内研究で取り組み）
 - ・ 授業力の向上（ねらいを明確にし、振り返りを意識した授業づくり）
 - ・ 外国語教育の推進（ALTとの協働、担任の指導力の向上）
 - ・ 学習規律の徹底と学習環境の整備（聞く姿勢の指導継続、始業終業時間の遵守、学習用具の整頓）
- ② 整った生活習慣の中で、自分や友だちのよさに気づき、認め合い、協力して活動する力を育てる
 - ・ 支援教育（インクルーシブ教育）、支援体制を推進するための教職員の協力体制の確立
 - ・ いじめの防止（丁寧な児童の様子の見取り、友達アンケートの活用）
 - ・ 基本的な生活習慣の確立
「中小のこころ」 あかるい挨拶 しずかな廊下 そろった靴箱
- ③ 健康な体づくりを意識し、進んで体を動かしたり、安全に行動したりする力を育てる
 - ・ 体力づくりの推進（外遊びの励行、持久走、大縄跳び等の取組の継続）
 - ・ 生活習慣の改善（児童の早寝、早起きの習慣化のための保護者への啓発、食育の推進）
 - ・ 安全指導の充実
- ④ 地域の人とのふれ合いを通して、自ら進んで家庭や地域と関わろうとする心を育てる
 - ・ 児童の参画意識を高めるねらいを持った地域連携活動の展開
 - ・ 児童自ら地域貢献の実感が味わえるような地域行事の位置づけ